



ヤエヤマアオキ

Morinda citrifolia L. アカネ科 (Rubiaceae)



東南アジア～オセアニアにかけて分布する熱帯性常緑小高木で、主に赤道付近の環太平洋の島々に多く自生しています。属名の *Morinda* はラテン語の「morus」（クワ）と、「indus」（インド）との二語からなります。種小名の *citrifolia* は「citrus」（シトロ）ンと「folius」（葉）とからなり、柑橘に似た葉を意味します。ハワイの現地語である「ノニ」(noni)が良く知られる名称のひとつになっており、果実には、ビタミン、ミネラル、アミノ酸などの栄養素が含まれていることから健康食品の「ノニジュース」として販売されています。根は赤色染料となり、特に、インドネシアなどでは「ジャワ更紗」の染料として用いられています。





ヤクチ

Alpinia oxyphylla Miq. ショウガ科 (Zingiberaceae)



生薬名: ヤクチ(益智) 薬用部位: 果実

中国南部に分布する多年草で温暖な気候を好み林下に自生が見られます。草丈1.5～3mで茎は直立します。福建、広西、雲南各省で生産栽培されています。本種の果実を摘み取り、陽乾したものが生薬「ヤクチ(益智)」で、シネオール(精油)などを含み、漢方では健胃^{※1}、整腸^{※1}作用があります。一般用漢方製剤294処方では使われませんが、夜間頻尿などの排尿障害の改善を期待して使用される「縮泉丸(しゅくせんがん)」に処方されています。また、生薬名の「益智」は「智を益する」、つまり「知力を増す」の意味があります。



※1 原島広至. 改訂第3版 生薬単 (ショウヤクタン) ～語源から覚える植物学・生薬学名単語集～. 伊藤美千穂, 北山隆監修. 東京, 丸善雄松堂株式会社. 2017, 361p.



ヤグラネギ

Allium fistulosum L. var. *viviparum* Makino ヒガンバナ科 (Amaryllidaceae)



ネギ (*A. fistulosum* L.) は中国西部からシベリアにかけて分布している多年草で、本種はその変種とされています。ただし、自然に分化したものではなく、人間の手によって選抜されたのではないかとわれています。5月に花茎の頂点に形成される「珠芽(しゅが)」が櫓(やぐら)に似ていることからこの名前が付けられました。晩春～初夏に珠芽を植えつけることで容易に繁殖が可能です。鱗茎には解毒^{※1}作用があるといわれています。



※1 蕭培根主編，真柳誠翻訳編集。中国本草図録 巻3。大塚恭男，庄司順三，滝戸道夫，丁宗鐵監修。東京，中央公論社。1993，258p.



ヤナギタデ

Persicaria hydropiper (L.) Delarbre タデ科 (Polygonaceae)



全国各地の川原や休耕田、湿地に自生する一年草で、高さ40～80cmになります。タデの仲間が多いのですが、本種のみが辛味成分のタデオナールを含むため、葉を噛むと舌先の感覚が麻痺するほどピリッとした辛味があります。それにもかかわらず食害する虫がいるため、昔から「蓼食う虫も好きずき」の諺があります。葉をリンゴ酢ですり潰した「タデ酢」は、鮎の塩焼きにつきもので、淡白な味を引き締めます。





ヤマザクラ

Prunus jamasakura Siebold ex Koidz. var. *jamasakura* バラ科(Rosaceae)



(局方)*Prunus jamasakura* Sieb. ex Koidz.

生薬名: オウヒ(桜皮) 薬用部位: 樹皮

宮城県以南の山地に分布する落葉高木で、葉と花が同時に展開します。奈良県の「吉野の千本桜」としても有名です。生薬「オウヒ」は、本種またはカスミザクラ(*P. leveilleana* Koehne)の樹皮を乾燥したもので、サクラニン(フラバノン)などを含み、鎮咳^{※1}、去痰^{※1}などの作用を有します。一般用漢方製剤294処方のうち、十味敗毒湯(じゅうみはいどくとう)、治打撲一方(ぢだぼくいっぽう)の2処方に配合されています。



※1 原島広至. 改訂第3版 生薬単 (ショウヤクタン) ～語源から覚える植物学・生薬学名単語集～. 伊藤美千穂, 北山隆監修. 東京, 丸善雄松堂株式会社. 2017, 361p.



ヤマノイモ

Dioscorea japonica Thunb. ヤマノイモ科 (Dioscoreaceae)



生薬名:サンヤク(山薬) 薬用部位:根茎(担根体)

日本の本州以南、朝鮮半島、中国に分布する雌雄異株のつる性多年草です。8月頃に白色の小さな花を穂状に付け、雄花序は直立し、雌花序は下垂します。地下部には「担根体」と呼ばれる根でも地下茎でもない極めて特殊な貯蔵器官を形成します。秋には葉腋に球形のムカゴをつけます。生薬「サンヤク」は本種の周皮を除いた根茎(担根体)で、ジオスゲニンなどの成分を含み、滋養強壮^{※1}などの作用があります。一般用漢方製剤294処方のうち、八味地黄丸(はちみじおうがん)、牛車腎気丸(ごしゃじんきがん)など8処方に配合されています。



※1 原島広至. 改訂第3版 生薬単 (ショウヤクタン) ~ 語源から覚える植物学・生薬学名単語集~. 伊藤美千穂, 北山隆監修. 東京, 丸善雄松堂株式会社. 2017, 361p.



ユズ

Citrus junos (Makino) Siebold ex Tanaka ミカン科 (Rutaceae)



中国の長江上流に分布する常緑小高木で、樹高3～5m程度になります。日本に渡来した時期は定かではありませんが、奈良時代または飛鳥時代の頃と考えられています。ユズは結実までに長期間を要することから、俗に「桃栗3年、柿8年、柚子は9年の花盛り」といわれています。ユズの果実にはヘスペリジンのほか、ピネン、シトラールなどの精油成分を含み、健胃^{※1}作用があるといわれています。古くより冬至の日には本種の果実を用いたユズ湯に入る風習があります。



※1 難波恒雄. 原色和漢薬図鑑(上). 大阪, 株式会社保育社. 1980, 517p.



ヨモギ

Artemisia indica Willd. var. *maximowiczii* (Nakai) H.Hara キク科 (Asteraceae)



(局方)*Artemisia princeps* Pamp. キク科 (Compositae)

生薬名: ガイヨウ(艾葉) 薬用部位: 葉・枝先

日本、中国に分布する多年草です。草丈60～120cmになり、9～10月頃に多数の頭花をつけます。生薬「ガイヨウ」は本種の葉及び枝先で、1, 8シネオール(モノテルペノイド)などの成分を含み、止血^{※1}、抗菌^{※1}、抗炎症^{※1}などの作用があります。一般用漢方製剤294処方のうち、芍婦膠艾湯(きゅうききょうがいとう)に配合されています。葉の裏には綿毛があり、お灸に使われるモグサは本種の乾燥した綿毛を集めて固めたものです。薬用、食用として昔から馴染みの深い植物です。



※1 原島広至. 改訂第3版 生薬単 (ショウヤクタン) ～語源から覚える植物学・生薬学名単語集～. 伊藤美千穂, 北山隆監修. 東京, 丸善雄松堂株式会社. 2017, 361p.



ヨロイグサ

Angelica dahurica (Hoffm.) Benth. et Hook.f. ex Franch. et Sav. セリ科 (Apiaceae)



(局方)*Angelica dahurica* Benth. et Hook. セリ科 (Umbelliferae)

生薬名:ビャクシ(白芷) 薬用部位:根

日本、朝鮮半島、中国、シベリア東部に分布する多年草です。草丈120～150cmになり、6～7月に花を咲かせます。生薬「ビャクシ」は本種の根で、ビャクアンゲリコール(クマリン)などの成分を含み、解熱^{※1}、鎮痛^{※1}、解毒^{※1}、排膿^{※1}などの作用があります。一般用漢方製剤294処方のうち、五積散(ごしゃくさん)、清上防風湯(せいじょうぼうふうとう)など15処方に配合されています。



※1 原島広至. 改訂第3版 生薬単 (ショウヤクタン) ～語源から覚える植物学・生薬学名単語集～. 伊藤美千穂, 北山隆監修. 東京, 丸善雄松堂株式会社. 2017, 361p.